

# 自他尊重の コミュニケーションと 職場の人権

## 2

相手の立場で考える



上映時間:23分 | 価格:69,300円(本体66,000円) | 解説書・ワークシート付 | 字幕版同時収録 | 商品コード[C#3136]

※消費税の変動により販売価格は変更の可能性があります。



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 <http://www.toei.co.jp/edu/>

この教材では、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、

それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、

お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。それぞれのエピソードでは、

お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。

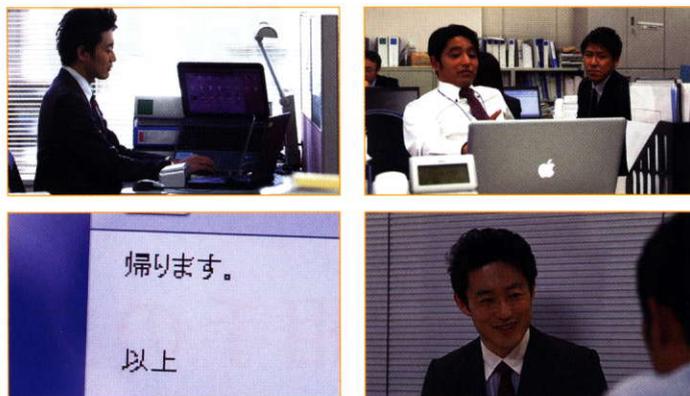
自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。

### 「好意が重すぎるう！」



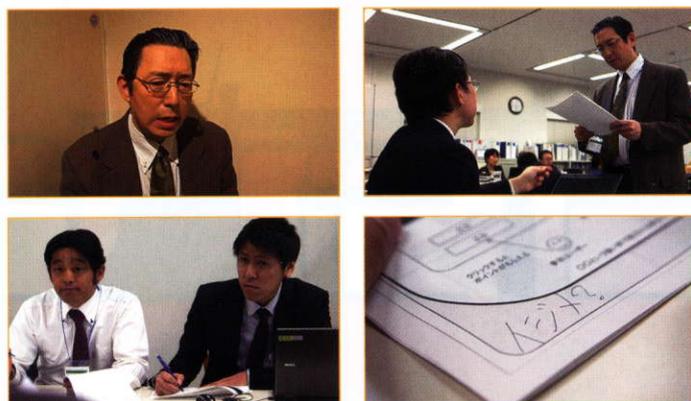
先輩社員の太田は、途中入社した同い年で同性の岸本に好意を持って接しているが、その親切が岸本にとってだんだん重荷になってくる。

### 「理系って冷たい？」



ソフトウェアエンジニアの大村のメールはいつもぶっきら棒。営業の中田は、あまりにメールが冷たいことにいつもイライラしてしまう。

### 「年上の部下、年下の上司」



新しい室長の大江が異動してきた。古参社員の夏目は面白くない。大江の指示に従わないだけでなく、真っ向から否定的な態度にでてしまう。

### 「ワーク・ライフ・バランス」



中田は、育児時短制度を利用しており、他の社員よりも早めに帰る。そのことで、大事な仕事を任せてもらえなかったり、出世に影響してしまったりするのではないかと、不安に襲われる。